

+Plus

プラス

2023
夏号 **38**

病気は
“あなた自身のせい”
だけではありません

特集





松本市を中心に中信地域で「断らない医療・関わり続ける医療」を展開する松本協立病院。第13回の「おしえて!ドクター」では、佐野達夫院長に、「健康の社会的決定要因」について聞きました。

佐野 達夫 (さの たつお)

診療科：外科

出身地：千葉県船橋市

経歴：1990年 信州大学医学部卒業、松本協立病院で初期研修開始

1991年 諏訪共立病院を経て、当院で外科研修開始

1995年 国立がんセンター中央病院 肝胆膵外科にて研修

1996年 松本協立病院外科にて診療

2018年より病院長を仰せつかっております

加入学会：日本外科学会、日本内視鏡外科学会 など

趣味：山スキー、登山、DIY

ひとこと

困りごとの相談に乗れる存在でありたいと思っています。

病気は
“あなた自身のせい”
だけではありません

「健康の社会的決定要因」とは？

「人の健康状態は、その人自身の生物学的要因だけで決まっているのではない」という考え方を、健康の社会的決定要因（SDH）と言います。例えば昔は「糖尿病はぜいたく病だ。本人が悪い」と言われたりしました。しかし、貧困など、本人が望んだわけではない理由から、栄養状態が悪くなるなどして、病気になるってしまう人がいます。ストレス、労働環境、社会的な支援の有無、生まれた時まで含めた幼少期の状況など、個人の力ではコントロールできない環境や社会経済的な要因も重なることで、健康であるかそうでないかが決まってしまうのです。

外科医として「目の前の患者さんをここで治す」だけでは対応しきれないのが健康だと気づき、SDHに関わる取り組みを、医師としてだけでなく、病院全体としても進めています。

病院がSDHを考える必要性とは？

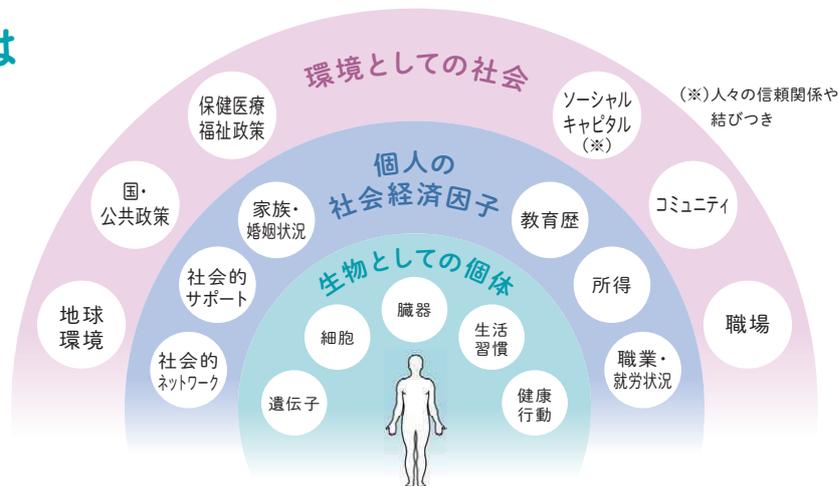
コロナ禍では、高齢者だけでなく現役世代でも、人や社会とのつながりが断たれたり、経済的に厳しい中で病気が見つかるなど、社会的な要因で健康を害するケースがありました。病院が医療技術を高めることは必要ですが、それだけでは人の命を救うには不十分なのです。体調が悪ければお金の心配なく医者に行けたり、きちんと仕事が休めてストレスが少ないなど、安心して生活できる環境をつくることは本当に大切です。

病院スタッフが地域に出ていく活動を徐々に再開し、「職員一人一回は地域へ」という方針で動き出しています。健康は必ずしも自己責任だけではない。病気だけ診るのではなく、患者さんの置かれた環境や考えにも意識を向けて、患者さんを地域のつながりの中へ帰せるようにならなければ、と考えています。

Dr.佐野のけんこうミニ講座

健康を決める要因は虹のように重なる

当院では、「中信健康友の会」で、地域の方々と一緒に健康づくりに取り組んでいます。こういった活動を通して“誰かとのつながり”を持つだけでも、健康にいい影響があるとのデータもあります。



地域 ↔ 病院

イベントを通して健康づくり！

9/17
SUN

松本協立病院健康まつり

待ちに待った再開！健康チェック、医療講演、地域の方の発表などさまざまなイベントで、地域の皆さん、友の会、病院をつなぎます。

きずな村

困りごと相談会、食料・衣服の無償提供など、地域の方々と協力して多方面のネットワークをつくりながら、年に複数回行っています。



経済的に困っている方には「無料低額診療」があります。まずは受診を！ご相談を受け、支援につなげます！



きょうりつの

#13 北3

患者さんや私たちの笑顔のために、育む思いやりの心



写真手前から時計回りに：太田 智奈美(おたの ちなみ)・飯島 由加(いじま ゆか)・小笠原 美沙紀(おがさわら みさき)・曾根原 有基(そねはら ゆうき)



中信で一番頼りにされる地域包括ケア病棟を目指して

ココが自慢!

職種は違っても格差はなし 目標に向け、みんなで協働

北3病棟のスタッフは、職種は違っても、それぞれ対等の立場で患者さんと向き合います。例えばリハビリなら、専門スタッフが中心となって進めるのが普通ですが、北3では看護師や介護士も入って、集団で機能訓練をすることも。“協働”という言葉が文字どおりに展開されている病棟で、スタッフみんなが患者さんやご家族に関わっていることが強みです。



生活を見据えた看護介護ケア・リハビリで
患者さんの機能を維持し、可能性を引き出す

北3病棟は、入院治療後、在宅復帰へ向けてリハビリや支援などが必要な方や、自宅や介護施設などで療養中に入院治療が必要な方、レスパイト入院などを受け入れる「地域包括ケア病棟」です。医師、看護師、介護士、理学・作業療法士など多職種が一緒に働きます。「『最期は自宅で』という望みが多かった患者さんのケースでは、私たちの行動力の必要性を学びました」。住み慣れた環境に患者さんを安心して帰すために日々励みますが、病棟施設の古さは悩みの種。「家でも同じようにできるよう、院内の生活環境を整えたいですね。患者さんが安楽に入院しながら、次の生活にステップアップできる『中間地点』でありたいです」

患者さんは百人百様。型にはめたり押しつけるのではなく、患者さんと話しながらベストな答えを見つけていくことを大事にしています。患者さんやご家族の生活を守り、頼れる身近な存在でいられるよう「患者さん第一」はもちろんのこと、患者さんを大事に思う職員や関係者もともに大切にできるチームを目指しています。

New Doctor

新規着任医師紹介



循環器内科

上迫 隼太 (うえさこ はやた)

出身地… 福岡県

出身大学… 大阪医科大学

所属学会… 日本内科学会、日本循環器学会、
日本心血管治療学会、日本不整脈学会

専門医… 日本専門医機構認定内科専門医
浅大腿動脈ステントグラフト実施医
日本周術期経食道エコー認定医

趣味・特技… ギター、ボクシング

Message

当初は、1年間だけの長野赴任の予定でしたが、多くの先生方のご厚意や長野県の自然の豊かさに惹かれ、長野生活を継続中です。患者様がいつでも安心して受診できるよう、努力いたします。胸が痛い、動悸がする、意識を失った、足が痛いなどの循環器内科疾患に対して、幅広く診療させていただきます。よろしくお願いいたします。



小児科

光武 結 (みつたけ あゆ)

出身地… 神奈川県

出身大学… 信州大学

所属学会… 日本小児科学会、
日本プライマリケア学会

趣味・特技… うたうこと、動物、さんぽ、旅行、
映画、漫画

Message

私はLGBTQアライ（支援者）であり、地域で平和の活動をしています。そして、お子さんたちがより自分らしく生き生きと育っていくために、医療の面でも力を尽くしたいと思います。お子さんやご家族には毎日たくさんのことを教えていただいていますので、私からも安心と笑顔をお届けられたらうれしいです。よろしくお願いいたします。

TOPICS

手術室の工事が終了しました

心臓カテーテル室（カテ室）の血管造影装置の更新に伴う手術室の改修工事を2023年3月より実施してきましたが、7月末に工事が完了し、新しい血管造影装置などの医療機器を設置しました。カテ室機能と手術室機能を統合した2つの手術室が改修され、放射線透視下での外科的手術が可能となる「ハイブリッド手術室」と、バイプレーンと呼ばれる2つの透視装置から血管造影撮影を行い、患者さんや職員への放射線被ばく軽減と治療の効率化が図れる「バイプレーン手術室」が設置されました。8月下旬からの運用開始を予定しています。



ハイブリッド手術室



バイプレーン手術室



中信健康友の会 だより

2023.AUGUST



健康友の会ってどんな組織？

「友の会」は1974年に(当時の呼称:協力会)、松本の地に誕生して以来、中信地域に1.7万名近い会員さんを擁する大きな組織となりました。その活動の柱は「健康づくり・助け合い・まちづくり」です。

健康づくりの中心は、友の会健診、健康体操、ウォーキング、医療懇談会などです。特に2009年から始まったバランスボール体操は各支部で好評となり、参加人数は年間1,000名を超えるブームとなりました。骨密度計を使っての健康チェックも行い、楽しく誰もが参加できる友の会活動の真骨頂となっています。

他にも各種ボランティア活動を始めとして、出勤回数年間10,000回の顔見知り同士による通院送迎、職員も多数参加する懇親会・旅行などに取り組んでいます。

私たちの願いは「安心して住みつづけられるまちづくり」です。みんなの知恵と協力があれば必ず実現できる目標です。

みなさんも
中信健康友の会に
入りませんか？

詳しくは職員にお尋ねください。



中信健康友の会

〒390-0817

松本市巾上9-26 松本協立病院内

TEL 0263-32-9033

友の会
ロゴマーク
について

2011年制定。「友」をデザイン化。健康づくりの三つの基本「正しい姿勢」「準備体操」「リズムカル」を表現しています。

活動報告

動き出した 松本各支部の支部総会！

友の会の支部総会は楽しい企画も一緒に行います。友の会活動の感染対策上の制限は条件付き「緩和」をしています。



松南支部総会

認知症サポーター養成講座

日本福祉大学学生制作の認知症啓発カルタで白熱

横田元町支部総会

リンパマッサージ

ハンドマッサージでリラックス



北部支部総会

スモールボール体験会

スモールボールで手指のストレッチ・筋トレ

中山支部総会

身体の健康は歯の健康から

松本協立病院歯科センター
河野美香歯科医師



島立支部総会

しっかり食べて 健康寿命を伸ばそう

食べ物チェック。バランスよく食べましょう

協立 2023 Summer 写真日記

PHOTO DIARY



松本協立病院の
できごとを
写真で紹介!



2023.6.1(木)

エレベーターにタブレット設置

患者用エレベーター3基にタブレットを設置しました。防犯カメラの役割もあります。



2023.6.10(土)

子育て支援セミナー開催

「発達障がいのある子の子育て」をテーマに、酒井慧医師と宮脇千史OTが講演を行いました。



2023.7.10(月)

松本秀峰中等教育学校で医療講演

循環器内科の上迫隼太医師が「目標を持ちながら勉強することが大切」とメッセージを送りました。



2023.7.22(土)

呼吸器患者会「あやめ会」に、17名

互いの近況や想いを語り合う機会はとても貴重です。金山医師のハーブ演奏もありました。



2023.7.27(木)、8.2(水)

高校生看護体験を実施しました

3年半ぶりに対面で高校生体験を実施。看護を目指す高校生が若手看護師と交流しました。

編集
後記

台風が通り過ぎました。全国的に大きな被害と混乱がありましたね。気候危機による災害の増加をみていると、本当にまったなしの対策が必要だと痛感します。私たちは、気候変動の被害を受けている世代であると同時に、対策を講

じることのできる最後の世代でもあります。自分ごととして捉え、本当にしなければいけないことは何か見極め、行動したいと思います。／柳 未来

インフルエンザの予防接種について(成人)



11月より2023年度のインフルエンザ予防接種を開始予定です。

- 対象者 一般、高齢者
- 実施予定日 11月7日(火)・14日(火)・21日(火)・28日(火)
- 受付時間 16:00~16:45
- 接種場所 病院入口 アメニティーモール
- 接種料金 1回目:4,500円 2回目:3,000円(現金のみ)
- 接種回数 成人:1回
13歳以下の小児と医師からの指示のある成人:2回

※予約は不要です。左記時間内にご来院ください。
※ワクチンの入荷状況によって左記日程でも接種できないことがあります。
※定期受診のため診察予約をお取りいただいている方は、来院時にご相談ください。
※市町村からの接種券(問診票)がある方は必ずご持参ください。



ご不明な点は **0263-35-5300** へご連絡いただくか、当院ホームページをご確認ください

外来診療ご案内

受付時間 8:30~16:30
診療時間 9:00~

診療に関する相談・上記時間外での救急診療

TEL. 0263-35-5300

予約・変更など(平日9:00~16:30)

TEL. 0263-35-5288

地域医療福祉連携室

受付時間 9:00~17:00

TEL 0263-35-6999

FAX 0263-35-5338

紹介のお問い合わせは、
こちらへお願いします。

健診・人間ドック

受付時間 9:00~12:00
14:00~17:00

TEL 0263-35-0479

FAX 0263-35-1766



 **松本協立病院**
MATSUMOTO KYORITSU HOSPITAL

〒390-8505 松本市中上9-26
TEL 0263-35-5333 FAX 0263-36-0370

メールでのお問い合わせは、ホームページの
お問い合わせフォームよりお願いします。

HP <https://www.chushin-miniren.gr.jp/>

塩尻協立病院 /0263-53-5353
山形協立診療所/0263-98-3933

表紙の人

院長 佐野 達夫

「土曜日など、午後半日空けばスキーに行きます」と佐野院長。天気がよければ颯爽と自転車通勤です。